

大阪府民生委員(方面委員)制度創設100周年記念事業

調査研究事業 報告書

～社会的に孤立している人々への支援にむけて～



大阪府民生委員児童委員協議会連合会

はじめに

今日、少子・高齢化の進行や人間関係の希薄化などを背景に、社会や家族の姿は大きく変化しています。人々が直面する生活課題、福祉問題も多様化・深刻化し、地域の中で孤立してしまう人が増えてきています。

大阪府民生委員児童委員協議会連合会では、大阪府民生委員（方面委員）制度創設100周年の記念事業として、「社会的に孤立している人々への支援にむけて」をテーマとして、平成29年度に調査研究委員会を組織し調査研究事業を実施してきました。

調査研究委員会の個別支援事例研究チームでは、認知症や不登校等をテーマに事例を収集し事例検討を実施、民生委員・児童委員（以下、民生委員）の役割等について協議しました。また、ヒアリング調査チームでは、先駆的な取組みを行っているNPO法人等に訪問し、その実践内容から民児協として取り組む地域のつながりづくりについて考えました。

「声をあげない人」を早期に発見するためにはどうすればよいか、民生委員がひとりで抱え込まずに支援を行うために必要なことについて協議を重ね、調査研究事業の成果として、このたび報告書としてとりまとめました。

本報告書が、住民同士が支え合う地域づくりや民児協組織の活性化の一助になればと願っております。

本報告書の発行にあたり、取材にご協力いただきました団体の皆さまと、アドバイザーとして関わっていただきました大阪府立大学の小野達也教授と大阪人間科学大学の石川久仁子准教授、事例検討に関わっていただきました大阪府家庭支援課の成光賢一課長補佐に厚くお礼申し上げます。

目次

ヒアリング調査	P2
• 市町村民児協での取り組み事例紹介（居場所づくりへの参画）	P13
個別支援事例研究	
• 個別支援事例研究チーム	P23
• 市町村民児協での取り組み事例紹介（事例検討の実施）	P32
• 主任児童委員連絡会	P33
社会的に孤立している人々への支援にむけての取り組み	P53
社会的に孤立している人々への支援のポイント	P55
調査研究委員会 委員名簿	P58

※本書では、原則「民生委員・児童委員」を「民生委員」と表記しています。